

趣味時間探訪！「利用者さんの休日の過ごし方②」

練習を積み重ねて

千葉太郎さん [加古川はぐるまの家]



先にも長く
て白い紐
がついて
おり、頭
を大きく

千葉さんは「農楽」という韓国の伝統的な打楽器の演奏をするサークルで練習や公演に参加するなど忙しい日々を送っています。農楽とは、収穫や出陣を盛り上げる音楽や伝統芸能のことです。サムルノリという4つの打楽器演奏と、プンムルノリという踊りを伴うものがあるそうです。みなさんがよく耳にする「チャンゴ」は4つの打楽器のうちの二面太鼓のことです。

5歳から和太鼓をしており、別サークルで仲の良かった寺前亭介さんのお母さんに誘ってもらったことがきっかけで15歳から習い始めました。

バチを持つて太鼓や鐘を力強く叩くので以前は手にできた豆が潰れてしまったり、手荒れの悪化や怪我等で作業ができないこともありました。仕事が大得意なので、今では力加減やクリームを塗る等、ご自身で気を付けることができるようになりました。

農楽のプンムルノリは華やかな衣装を着て複数人で周囲の動きやリズムに合わせて踊りながら楽器を演奏します。衣装の帽子の先に長く白い紐がついており、頭を大きく振り回すという舞（左写真）があります。練習を頑張っている手拍子しながら上手に回せるようになり演奏曲のトリを務められるまでになりました。



はぐるまの家の分解班で精一杯働き、お給料で楽器や道具、衣装を買うことを目標に頑張っています。韓国で演奏したことや、仲間や職員にも見てもらい褒めてもらっているのが嬉しくてやがいにいっているようです。

（就業支援部 松尾）

お気に入りの絵本で笑顔いっぱい♪



石田幸枝さん
[生活支援センター]

石田幸枝さんは現在、生活支援センターで生活されています。彼女は普段、居室で過ごすことが多く居室での余暇をご本人なりに充実させて過ごされています。韓国ドラマや料理番組、ディズニーアニメなどを楽しそうに観賞されたり、身体のためにリハビリに取り組まれています。特にご本人が好きなのは絵本を読むことです。



これら先も新しい絵本に出会って、素敵な笑顔がたくさん見ることができのを楽しみにしています。

（生活支援部 赤松）

すが、絵本を逆さまに持ち、逆さまでも絵本を楽しめるようにしています。逆さまになった文字を読んだり、逆さまになった登場人物を見てみたりと独特な発想力と楽しみ方にいつも驚かされています。

現在のお気に入りの絵本は「ピカチュウはじめののち」だそうなんです。どんなところが好きなのか尋ねると、可愛らしいタッチで描かれているところ、絵本に出てくるイーブイというキャラクターが好きだからと満面の笑みで教えてくださいました。

大相撲の魅力

佐賀山大輝さん [加古川はぐるまの家]

佐賀山大輝さんは現在、加古川はぐるまの家の就労継続支援事業B型を利用されています。相撲が大好きで、テレビやラジオでの観戦だけでなく、力士の対戦表、成績表、星取表の作成を趣味として楽しんでいらっしゃいます。相撲が好きになったのは中学生の頃からで、きっかけは2016年初場所、大関の琴奨菊さんが初優勝した取組をテレビで見たことでした。それまで相撲はあまり見たことがありませんでしたが、取組の雰囲気や技のカッコよさに魅力を感じたそうです。それから色々な力士の取組を見て、力士や相撲のことを知っていく中で興味、関心が高まっていきました。取組だけでなく、会場の雰囲気や行司さんを見ることも好きだそうなんです。またノートに力士の対戦表、成績表、星取表をまとめ始めて今年で7年目になるそうです。

大相撲春場所所内星取表

場所	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
東	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関
西	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関
南	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関
北	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関

横綱照富士 新大関琴奨菊

場所	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
東	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関
西	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関
南	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関
北	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関	大関

ていつかは実際に会場に行き、生で取組を観戦してみたいとのこと。今後も仕事と趣味を充実して楽しんでください。

（就業支援部 山本）

一打入魂

濱口和真さん [加古川はぐるまの家]



濱口和真さんは、ゴルフを趣味として楽しんでいらっしゃいます。きっかけは小学2年生の頃、父親が行っていた打ちっぱなし場でジュニアゴルフレッスンの募集を見つけたことでした。その頃の和真さんは集団生活が苦手、両親が少しでも集団生活に慣れるようにという思いから申し込みを考え、同伴ならいいですと言われ父親が付き添いのと通うことになりました。はじめて打った瞬間、両親は和真さんにセンスを感じたそうです。

レッスンは5人ずつのチーム編成でちょうどいい人数だったこととその仲間にとっても恵まれ、和真さんにとって4年間、6年生まで続けられたのも仲間のおかげだと言っていました。その後週に1、2回は父親とゴルフの練習に通っては、時々ミニコースや本コースにも挑戦し、周りに迷惑をかけずにまわれる腕前のようです。ゴルフの衣装についてもご自身のお給料から和真さんがすべてコーディネートしながら購入しそれを試着して、写真を撮ることも楽しみの一つです。

（就業支援部 明石）